おもてなしの一助をお届け

生活課

生活課では８月９日、事前に予約受付した「お盆ごちそう材料セット」511セットを早朝より地区毎に分荷し、車両いっぱいに詰め込んで各家庭にお届けしました。
配達を担当した生活課職員は、「お盆休みに帰省する親族や、家族、友人と一緒に楽しんで頂くおもてなしの一助になってもらえれば」と話します。
配達先で「お盆ごちそう材料セット」の到着を待ちわびていた夏休み中の小学生は「これでバーベキューができる」と笑顔を見せてくれました。
年末には「正月ごちそう材料セット」としてセット内容を変更し販売を計画しています。

お盆ごちそうセットを嬉しそうに受け取る小学生

圃場で意見を交わす生産者

大豆病害虫防除適切に

あきた白神大豆生産組合

あきた白神大豆生産組合（大塚忠之組合長）は、８月22日現地圃場巡回を開催しました。
生産者や秋田県農業試験場の担当者ら約30名が参加し、今後の肥培管理や生育状況などを、管内６か所の圃(ほ)場を巡回しながら確認しました。
あきた白神大豆生産組合の大倉英和副組合長は「肥培管理も終盤にさしかかってきた。これからの病害虫等の適期防除を怠らずに、出来秋を皆笑顔で迎えたい。」と話してくれました。
山本地域振興局農業振興普及課からの説明では、県内を調査したところ病害虫の発生割合は例年よりもやや多いと推測していることから、適期防除の重要性を改めて呼びかけました。

農作業事故を撲滅させる安全意識

農業機械課

８月21日、22日の２日間で165名の来場者をカントリーエレベーターに出迎え、農機具展示会を開催しました。展示会にはトラクターや耕運機、噴霧器など小型農業機械を展示し、ＪＡ職員やメーカー担当者から各最新機器の説明を受けていました。
展示会場に用意された特設ブースでは、農作業安全講習会を同時開催し、事故の起きやすいケースや安全対策について受講した来場者らは出来秋を控え作業点検の重要性について耳を傾けていました。
また、豪華景品の当たる抽選会の開催や、来場者には無料で冷たいそうめんが振舞われ会場内は終日活気に包まれておりました。

農作業事故の予防と対策を呼びかけました。

作業安全に対する意識を高めました。

秋の農繁期作業事故ゼロを目指して

人事・審査課

生産者の秋の農繁期を間近に控え、受け入れる側としての安全に対する意識向上と作業を円滑に進めることを目的とした、作業安全管理研修会を８月27日に開催し、農業関連施設に携わる職員など約28名が参加しました。
講師に、労働安全コンサルタントの関雅幸氏を招き、秋田県の労働災害発生状況や発生原因の説明、はい作業やフォークリフトなどの労働災害の防止対策等について受講しました。また、心身をリラックスさせ、うっかり・ぼんやりを防ぐリラクセーションの重要性も併せて説明され、参加者は秋作業の無事故での終了を願い意思統一を図りました。

蟹座（6・22～7・22） 想定外のハプニングが発生しやすいよう。いたずらに動揺せず、まずは深呼吸で心を静めて。開運には花が効果大